

京都大学原子炉実験所専門研究会 「京大炉(KUR)を用いた放射化分析の成果と今後の展望」

日時：2016年1月14日（木）10:00 - 16:15 頃

場所：京都大学原子炉実験所事務棟大会議室

10:00 はじめに 海老原充

座長 関本俊

10:05 南極大陸ミラーレンジの氷の中から回収された MIL 07710 と MIL 091010 の化学組成 白井直樹（首都大学東京）

10:25 大気エアロゾルの中性子放射化分析による元素分析 伊藤憲男（大阪府立大学）

10:45 Development of correction methods for time-of-flight prompt gamma-ray analysis at ANNRI 黄 明輝（JAEA）

11:10 J-PARC MLF での ANNRI を利用した岩石試料の即発 γ 線分析の試み 大浦泰嗣（首都大学東京）

11:30 汽水湖のコア堆積物中のホウ素の定量 -PGA 法と ICP 発光分析法との比較 豊田和弘（北海道大学）

11:55- Lunch

座長 高宮幸一

13:00 試薬に含まれる Po-210 の測定 三浦 勉（AIST）

13:20 ミュオンビームを用いたガンマ線検出による非破壊元素分析法の検討 二宮和彦（阪大院）

13:40 紀伊半島南部地域住民の毛髪中元素と生活習慣 紀平為子（関西医療大学）

13:55- break

座長 松尾基之

14:00 炭化ケイ素半導体中の微量不純物に関する研究 牧野高紘（JAEA）

14:20 (仮)YAG:Nd 素子中の Nd の非破壊分析 田所孝広（日立製作所）

14:40 ハロゲンの分析による、USGS 標準岩石中の不均一性について 関本俊（京大炉）

14:55 (仮)FNCA 活動についての報告 海老原充（首都大学東京）

15:15 おわりに 大槻勤